

令和6年度一般会計補正予算（第5号）の専決について

1月12日、15日に判明した、今年度3、4例目の高病原性鳥インフルエンザの防疫措置を速やかに行う必要があることなどから、補正予算を編成し、専決処分を行いました。

1 補正予算規模

補正予算規模 40億円（補正後予算額2兆1,437億98百万円）

[歳入内訳]

- ・ 国庫支出金 20億円（1,814億円85百万円→1,834億円85百万円）
（家畜伝染病予防費負担金）
- ・ 繰入金 20億円（1,027億21百万円→1,047億21百万円）
（災害復興・地域再生基金）

2 補正予算の内容

○高病原性鳥インフルエンザの防疫（畜産課） 4,000,000千円
（既定予算とあわせ 5,000,000千円）

県内の養鶏場で発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫措置として行う殺処分や埋却などに要する経費等を計上します。

[経費内訳]

- ・ 3、4例目の防疫措置に係る経費 2,000,000千円
- ・ 今後の備え（100万羽規模を想定） 2,000,000千円

(参考) 令和6年度高病原性鳥インフルエンザの発生状況

(令和7年1月15日現在)

No.	発生日	発生場所	対象数
1	令和6年4月29日	富里市	採卵鶏 約5.7万羽
2	令和6年10月23日	香取市	採卵鶏 約3.8万羽
3	令和7年1月12日	銚子市	採卵鶏 約41万羽
4	令和7年1月15日	銚子市	採卵鶏 約42万羽
	計		約92.5万羽